



文部科学省 21世紀COEプログラム
名古屋大学

「同位体が拓く未来： 同位体科学の基盤から応用まで」 平成17年度 成果報告会

Isootope Science and Engineering from Basics to Applications

日時: 2006年3月7日(火) 9:30 ~ 17:00

URL: <http://coe.nucl.nagoya-u.ac.jp/>

場所: 名古屋大学 IB電子情報館 2F IB大講義室及び1F プレゼンテーションスペース
地下鉄「名城線」名古屋大学駅 下車 (3番出口)

参加費: 無料 (ただし、懇親会費 ¥2,000)

主催: 名古屋大学「同位体が拓く未来」COE

- プログラム -

9:30 ~ 9:50 開会

来賓挨拶 平野 真一 (名古屋大学 総長)

9:50 ~ 10:20 同位体科学COE研究・教育活動の概要

山本一良 (COE拠点リーダー、名古屋大学 工学研究科 教授)

セッション1: 招待講演

10:20 ~ 11:10 長谷川 健 (日本原子力研究開発機構 東濃地科学センター)

「高レベル放射性廃棄物の地層処分と東濃地科学センターにおける地層科学研究について」

11:10 ~ 12:00 谷水 雅治 (海洋研究開発機構)

「元素の同位体比から何がわかるか？」

~ 太陽系の年齢から原子量の測定、生体内の重元素代謝過程まで ~

12:00 ~ 13:00 昼食・休憩

セッション2: COE博士研究員 成果報告

13:00 ~ 13:15 劉 衛 (名古屋大学 工学研究科)

「森林土壌二酸化炭素の濃度及び同位体比の時空間分布」

13:15 ~ 13:30 朱 彦北 (名古屋大学 工学研究科)

「オンライン濃縮/ICP-MSを用いる天然水中微量金属の同位体計測法」

13:30 ~ 13:45 出路 静彦 (名古屋大学 アイソトープ総合センター)

「イメージングプレートを用いる甲状腺¹³¹Iモニタリングシステムに対するフェーディングの温度依存性が検出下限へ及ぼす影響の解析」

13:45 ~ 14:00 後藤 晶子 (名古屋大学 年代測定総合研究センター)

「古地変解析を目指した伊吹山周辺地域における伝承および現地調査」

セッション3: 若手研究助成プログラムの成果

14:00 ~ 15:30 ポスター発表

15:30 ~ 15:45 休憩

セッション4 本COE関連の研究成果トピックス

15:45 ~ 16:05 八木 伸也 (名古屋大学 工学研究科)

「Cu(100)表面におけるL-Cysteineと水同位体分子の共吸着反応」

16:05 ~ 16:25 長谷川 拓也 (名古屋大学 工学研究科)

「生体試料中ヒ素、セレンの化学形態別分析と同位体科学への応用」

16:25 ~ 16:45 渡辺 賢一 (名古屋大学 工学研究科)

「レーザー共鳴イオン化質量分析法を用いた同位体分析法とその応用」

16:45 ~ 17:00 閉会

17:30 ~ 懇親会